

# 静岡県自然ふれあい施設

自然ふれあい施設は、全国で自然ふれあい活動の機会を提供している施設です。

公共施設としては、国立・国定公園内にあるビジターセンター、自然観察の森、環境と文化のむら、ふるさといきものふれあいの里、ふるさと自然のみちなどの施設があります。



## 天竜の森

天竜の森は、浜松市天竜区春野町と佐久間町にまたがる竜頭山を中心とした約95haの県営林を整備した森林です。大きく「仙人(そまびと)の森」「野鳥の森」「修験の森」の3つの森に分かれ、春の新緑や秋の紅葉など四季折々の表情が楽しめます。

交通案内：東名浜松 I.C. より約 2 時間

JR 浜松駅より国道 152 号線経由で約 2 時間 30 分

東名袋井 I.C. より約 2 時間

JR 袋井駅より約 2 時間 30 分

お問合せ：静岡県西部農林事務所天竜農林局森林整備課

浜松市天竜区二俣鹿島 559 TEL 053-926-2314

## 県立森林公園

県立森林公園は、森林レクリエーション活動や自然学習の場として、天然のアカマツ林を主体とした豊かな自然に恵まれた浜松市根堅、尾野の県営林(215ha)に1965年に開設されました。ビジターセンター「バードピア浜北」、自然と人との「共生」を基本理念とし、鳥類を中心とした自然に関する情報を発信し、四季折々の新しい情報を提供しています。

交通案内：東名浜松 I.C. より約 30 分 JR 浜松駅より約 40 分

連絡先：バードピア浜北  
浜松市浜北区尾野 2597-7 TEL 053-583-0443

開館時間：9 時 00 分～ 16 時 30 分

休館日：毎週水曜日(祝日の場合はその翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)

入館料：無料

## 榎原ふるさとの森

榎原ふるさとの森は、昭和40年代までは谷津田や薪炭林などとして利用される明るい里山でした。その里山の自然を取り戻すため整備されたのが「榎原ふるさとの森」です。

交通案内：東名相良牧之原 I.C. より約 20 分

東名吉田 I.C. より約 30 分

JR 金谷駅より約 15 分

お問合せ：静岡県志太榎原農林事務所森林整備課

藤枝市瀬戸新屋 362-1 TEL 054-644-9243

## 県民の森

県民の森は、県政百年を記念して整備された野外レクリエーション施設で、静岡市北部の井川・梅ヶ島地区にまたがる尾根沿いの約1,000haの地域です。

県民の森センター、キャンプ場などの施設は、富士見峠から約9km、豊かな大自然の懐にあります。

交通案内：静岡市街から井川方面へ50km、車で1時間45分

連絡先：県民の森管理棟

静岡市葵区井川 TEL 054-260-2214

受付時間：9 時～ 16 時(火曜定休、ただし7～8月は無休)

## 昭和の森

昭和の森は、昭和天皇の在位50年を記念して、林野庁が指定した自然に親しめる森です。伊豆天城山一帯の国有林1,600haがその範囲に入り、昭和の森会館を起点に、踊り子歩道や野鳥の森、八丁池など、様々なハイキングコースがあります。

交通案内：東名沼津 I.C. より約 1 時間

伊豆箱根鉄道修善寺駅からバス約 35 分

連絡先：昭和の森会館

伊豆市湯ヶ島 892-6 TEL 0558-85-1110

開館時間：8 時 30 分～ 16 時 30 分(3月～10月) 9 時～ 16 時(11月～2月)

休館日：第3水曜日 年末年始(12月29日～1月1日)

## 遊木の森

遊木の森は、静岡市の市街地に近接する有度山丘陵(中日本平地区)の県有地に、森林環境教育の実践の拠点として開設されました。遊木の森では、自然に親しみ、里山や森林とふれあう楽しさを伝えます。また、里山や森林の持つ役割や機能、その現状を伝え、里山や森林についての理解を深めます。さらに、周辺の暮らしや、生活の知恵、地域の歴史や文化など、人々の生活や環境と里山や森林との関係についての理解を深めます。

交通案内：東名静岡 I.C. より約 30 分 JR 静岡駅よりバス約 40 分

お問合せ：静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課

静岡市葵区追手町 9-6 TEL 054-221-2848

開館時間：9 時～ 17 時(3月～10月) 9 時～ 16 時(11月～2月)

年末年始休館



## 植物ごぼれ話

・・・桜という木はない？

春の一番の楽しみは、「桜前线」の到来です。でも、桜ってなんであんなに一気に咲くんでしょう？じつは、あの桜前线の桜は、染井吉野(ソメイヨシノ)という園芸品種なのです。植物分類上は、桜(サクラ)という植物はなく、桜とは、ソメイヨシノをはじめとした様々な品種の桜の総称なのです。

ソメイヨシノは、江戸時代の末期、江戸の染井村(現在の豊島区駒込)の植木職人たちが作り出した品種で、有名な吉野桜にあやかって「吉野桜」の名で売り出されたものです。その後、吉野の吉野桜(山桜)との混同を避けるため、染井吉野と改名されました。



**染井吉野** バラ科  
Rosaceae

ソメイヨシノ *PRUNUS X YEDOENSIS*

エドヒガンの園芸品種  
コマツオトメとオシマザクラの交雑種。花は葉に先立って咲く。  
桜前线の基津羅。

花のみごとさから全国に広がり、今では桜といえばソメイヨシノをさすほどになりました。しかし、このソメイヨシノは、すべて接ぎ木や挿し木によって増やされたもので、日本中にあるソメイヨシノは同じ遺伝子を持っています。いわばソメイヨシノは、すべてクローンというわけです。このため、同一の条件下で一斉に花が咲き、緯度や標高による「桜前线」が形作られるというわけです。

ちなみに、ソメイヨシノは江戸彼岸(エドヒガン)と大島桜(オオシマザクラ)の交雑種とされてきましたが、最近の研究により、江戸彼岸の園芸品種小松乙女(コマツオトメ)と大島桜の交雑種だということがわかりました。